

1. 香料 2. 硝石 3. 銀 4. 生糸

1. キリシタン大名による反乱を鎮圧するため、全国の領民に対して踏絵を強制し信者を見つけ出そうとした	2. キリシト教の布教が天下統一の妨げになると考えたが、ポルトガル等との南蛮貿易の利益は重視し続けた	3. キリシト教の教えが平和主義に基づいていることを警戒し、宣教師の追放と同時に南蛮貿易を一切禁止した	4. 天正遣欧少年使節の派遣をきっかけにヨーロッパの文化を積極的に取り入れるため、宣教師を優遇した
--	--	---	---

1. 採掘された銀がすべて遣隋使や遣唐使の派遣費用として、大陸への支払いに充てられていた点。
2. 日本で初めて労働組合が結成され、賃金の上昇と労働時間の短縮が実現した発祥の地である点。
3. 鉱山の運営に必要な森林資源の保護に配慮するなど、自然環境と共生した生産体制が維持されていた点。
4. 明治以降の近代化を支えるため、当時の最新技術であった製鉄業と一体化した巨大工場群が残っている点。

1. 後醍醐天皇の遺志を継ぎ勢力を抑え、南北朝の統一を成し遂げるための宗教的統制が必要だったため	2. 長崎がイエズス会領となっていたことや、日本人が奴隸として海外へ売られている実態を秀吉が知ったため	3. 御成敗式目の内容を改訂し、武士がキリスト教を信仰することを全国的に禁止する制度を整えたため	4. 足利義昭を追放して室町幕府を滅亡させた直後であり、旧勢力と結びつくキリスト教を排除したかったため
--	---	--	---

1. 北条時宗が元寇の際に築いた防塁の跡を戦場として利用し、武田氏の侵攻を食い止めた。
2. 伊能忠敬が作成した精密な日本地図を活用し、織田信長が武田軍の背後を突いて勝利した。
3. 平清盛が日宋貿易によって手に入れた最新の武器を織田信長に提供し、武田氏を退けた。
4. 織田信長が大量の鉄砲を組織的に使用し、当時最強といわれた武田氏の騎馬隊を破った。

1. 土地の収穫量に関わらず一律の税率を定め、農民が収穫した米をすべて市場で売却して現金で納税することを義務付けたこと。
2. 土地の売買を全面的に自由化し、農民が自らの判断で土地を処分できるようにしたこと、貨幣経済の発展を促したこと。
3. 天皇がすべての土地と民を支配するという公地公民の制度を復活させ、武士ではなく貴族の勢力を強める役割を果たしたこと。
4. 公家や寺社が持っていた中世以来の複雑な土地の権利を否定し、実際に耕作する農民の土地所持権を公式に確定させたこと。

1. 貴族や寺社が所有する荘園の権利を保護するため、土地の所有権を複雑なまま認めることとした。	2. 実際に収穫されたコメの総量を毎年調査し、その半分を領主が強制的に買い上げる仕組みとした。	3. 土地の売買価格を基準として定め、その一定割合を現金で政府に納めさせることとした。	4. 土地の面積や質から予想されるコメの生産量を算出し、農民に直接年貢を負担させる基準とした。
---	---	---	---

1. 農民から刀や弓、鉄砲などの武器を取り上げることで一揆を防止し、武士と農民の身分を明確に区別した。
2. 全国の田畑の面積や土地の良し悪しを調査し、収穫量を「石高」で表して、年貢を負担する農民を確定させた。
3. キリスト教の布教が日本の支配の妨げになると考え、宣教師の国外追放を命じるとともに長崎を直轄領とした。
4. 全国の関所を廃止し、市場での税を免除することで、商工業の発展と自由な経済活動を促進した。

1. 櫓 2. 本丸 3. 石垣 4. 天守

1. ヨーロッパからの活版印刷術は、江戸幕府による鎖国政策が始まった直後に、キリスト教布教の道具として初めて日本に紹介された。
2. 古墳時代に朝鮮半島からの渡来人が伝えた須恵器や漢字は、当時の有力豪族による支配体制の強化に役立てられた。
3. 遣唐使が廃止された後の平安時代中期に、唐からの天台宗・真言宗が伝わったことで、日本独自の国風文化が完成した。
4. 禅宗は、宋からの影響を強く受けた平安貴族の支持を得て、京都を中心に雅な文化として定着した。

(2023年 北海道公立入試 類似)

1. 平清盛が兵庫の港を整備し、中国の宋（北宋）との間で盛んに貨幣などを輸入した。
2. 宣教師が来航し、キリスト教の布教活動と密接に結びついて貿易が行われた。
3. 幕府から朱印状を与えられた日本の商人が、東南アジア各地へ進出して取引を行った。
4. 長崎の出島において、オランダや中国（清）との間に限定して貿易が行われた。

1. ドミニコ会 2. プロテスタント教会 3. テンプル騎士団 4. イエズス会